

平成 21 年 度 収 支 予 算

(平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

収支予算の編成に当たって

収支予算書

社団法人 全国大学体育連合

平成 21 年 3 月 23 日

収 支 予 算 の 編 成 に 当 た っ て

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

新会計基準に準拠した予算案の作成に務めた。当期収支の均衡を原則とするが、新規事業に関する諸費用、部会・委員会の増加に伴う諸費用については、前期からの繰越金で対応することとした。平成 21 年度の収支予算の要点は以下の通りである。

事業活動収支の部

1. 事業活動収入について

基本財産運用収入

基本財産引当預金（1,500 万円）の平成 19 年度の実績を踏まえ、37,400 円を計上した。

特定資産運用収入

事業運営積立資産（特定資産 570 万円）の平成 19 年度の実績を踏まえ、2 万円を計上した。

入会金収入

平成 19 年度決算時点での実績を踏まえ、若干減を予想し 7 万円を計上した。

年度会費収入

平成 19 年度および平成 20 年度における会員数の推移から、会員数が現状より若干減少することを予想し、22,377,000 円を見積った。賛助会費収入は平成 20 年度の実績をふまえ、4 件 20 万円を見積もった。その結果、合計 22,577,000 円を計上した。

事業収入

新規事業の指導者養成研修会の受講料収入として参加者 40 名、参加料 2 万円として 80 万円を見積もった。機関誌等の広告収入は、平成 19 年度および平成 20 年度の実績をふまえ計上していない。

雑収入

受取利息収入は普通預金、定期預金の平成 19 年度の実績をふまえ、49,000 円を見積計上した。

事業活動収入合計

以上の結果、事業活動収入合計は 23,553,400 円となり、前期に比して 81 万円の増となった。

2. 事業費支出について

事業費支出

1) 一般運営費支出

「機関誌『大学体育』発行費支出」は、平成 20 年度精算時の実績をふまえ、146 万円を計上した。

「論文誌『大学体育学』発行費支出」は、掲載論文数の増加を見込み、前期より 5 万円増額した 45 万円を計上した。

「会員増強費支出」は、引き続き新規会員加入促進をはかること、役員改選に伴うパンフレット改訂が必要なことから、前期より 2 万円増額し 16 万円を計上した。

「FD 評価関係費支出」は、新たに「認定マーク」を作成すること、隔年で実施している FD に関する調査を今年度実施することから、前期より 44,000 円増額し 418,400 円を計上した。

「図書刊行費支出」は、体力測定報告書の作成費と新規出版の検討費が含まれる。後者は今年度から新たに計上するため、98,000 円増額し 398,000 円を計上した。

「シンポジウム開催費支出」は、日本体育学会との共催シンポジウム開催費用である。前年度実績を考慮し 500,000 円を計上した。

「研修会教材作成費支出」は、指導者養成研修会等で使用する教材の開発、検討、作成の費用が含まれる。今年度は検討が中心となることから、前期より減額して 54,000 円を計上した。

「表彰関係費支出」は、受賞者への記念品を見直し表彰楯としたことから、前期より増額し 177,000 円を計上した。

「ホームページ関係費支出」はデータ整理等の経費を見込み、300,400 円を計上した。

「大学体育資料作成費支出」は 2 年間の活動を見直し、今後の方針を検討が中心となることから、減額し 48,000 円を計上した。

「指導者養成研修会費支出」は平成 21 年度から全会員を対象とした研修会を実施するための費用が含まれる。3 種目程度を開催予定であるため 190 万円を計上した。

「会議費支出」および「旅費交通費支出」は、部会・委員会の増加、構成委員の増加、新規事業に伴う会議の増加を見込み、前期より増額しそれぞれ 513,450 円、708,950 円を計上した。

「印刷製本費支出」は、部会・委員会資料等の印刷費が含まれるが、会議開催の増加を見込み、1 万円を増額し 28,000 円を計上した。

「給料手当支出」は、大体連運営にかかわる事務職員給与であるが、昨年度は事務職員退職に伴う引継ぎ業務のため増額した。平成 21 年度は例年通りの見積もりとして、2,005,000 円を計上した。

「通信運搬費支出」は平成 20 年度精算時の実績をふまえ、728,000 円を計上した。

「図書費支出」は推薦図書の購入のほか、新公益法人関連図書の購入が見込まれるため、増額し 4 万円を計上した。

「消耗品費支出」は部会、委員会の増加のため増額し、26,000 円を計上した。
「雑支出」は平成 20 年度精算時の実績を考慮し、増額して 15,000 円を計上した。

2) 研修事業費支出

「研修会補助金支出」は前期と実施形態が変わらないことから、前期と同額を計上した。

「研修会調査準備費支出」は中央研修会主管支部にその調査準備を補助するものであり（平成 22 年度主管支部 80,000 円、当該年度主管支部 150,000 円）、前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」は中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であり、前期と同額を計上した。

「中央研修会費支出」は、中央研修会の運営調査、各部長の派遣に関わる経費であり、開催場所（山口県）平成 20 年度参加費等を考慮し 80 万円を計上した。

「研修会企画調整費支出」は、中央研修会の事前調査に関わる費用であり、前期と同額を計上した。

「支援補助金支出」は 8 件の支援補助を予定し、80 万円を計上した。

3) 研究調査費支出

「研究助成費支出」、「検討会議費支出」、「消耗品費支出」、「図書費支出」は前期と同額を計上した。

「旅費交通費支出」は平成 20 年度から実費精算としたため減額し 35,000 円を計上した。

「印刷製本費支出」は前期実績をふまえ、増額し 35,000 円を計上した。

「通信運搬費支出」、「研究調査雑給費支出」は、会員校を対象に資料収集を行うため、それぞれ 72,000 円、84,000 円を計上した。

4) 支部補助金支出

支部補助金支出は前期と同額を計上した。

5) 国際交流費支出

「国際会議費支出」は国際学会年会費に係わる費用で、当期は ICHIPER・SD、および ICSSPE 分として 40,000 円を計上した。前期よりも減額しているのは、円高の影響である。

「海外研修費支出」は ICHPER・SD 世界大会派遣に係わる費用で、平成 21 年度はドバイ開催のため 36 万円を計上した。

管理費支出

「給料手当支出」は大体連運営にかかわる事務職員給与の経費および監査経費の2,065,000円を計上した。

「臨時雇賃金支出」は総会開催に伴うアルバイト雇用のため、6万円を計上した。

「顧問報酬費支出」は、役員改選にともなう登記書換え業務が発生することから、2万円を増額し48万円を計上した。

「総会・理事会費支出」は、前期実績をふまえ、それに宿泊代を加えたことから154,000円増額し954,000円を計上した。この小勘定科目には、総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

「会議費支出」は、役員改選時の推薦委員会が開催されないことから、減額し285,250円を計上した。

「旅費交通費支出」は平成20年度より実費精算としたことから、平成20年度上半期実績をふまえ、401,000円を計上した。

「印刷製本費支出」は平成20年度決算時実績をふまえ、増額して40万円を計上した。

「通信運搬費支出」は前期実績をふまえ、減額して35万円を計上した。

「賃借料支出」は、事務所賃貸契約更新に伴う手数料等が発生することから103,756円増額し、1,433,756円を計上した。

「図書費支出」は新公益法人関連の資料収集が必要であることから、増額して3万円を計上した。

「消耗什器備品費支出」は、事務所パソコンの購入費用として10万円を増額し、14万円を計上した。なお、リースと比べ購入のほうが安価であるため、購入することとした。

「光熱水科費支出」は前期実績を考慮し、7万円を計上した。

「諸謝金支出」は新公益法人関連の勉強会の開催を見込み、4万円を計上した。

「租税公課支出」は、前期と同額を計上した。

「雑支出」は前期実績から55,000円を計上した。

「慶弔費支出」、「消耗品費支出」は前期決算実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

他会計からの繰入越金支出

他会計からの繰入金収入と同様に、他会計からの繰入金支出の予算は計上していない。

以上の結果、当期の事業活動支出の合計は25,082,406円となり前期に比して1,367,624円の減となっている。

投資活動収支の部

投資活動収支の部は新会計基準に準拠して新たに設けた項目である。今期は計上していない。

予備費支出

当期は 16,350,994 円を計上した。前期に比して 717,624 円の増となっている。

前期繰越金収支差額

前期精算時点の見込み額である 17,880,000 円を計上した。

当期の収支

1) 事業費支出と管理費支出の比率

予備費を除いた当期支出合計の 25,082,406 円に対して、事業費支出の 18,218,400 円は 73%、管理費支出の 6,864,006 円は 27%となっている。

2) 当期収支の差

当期の事業活動収入合計は 23,553,400 円、予備費を除く当期の事業活動支出合計は 25,082,406 円であり、差引 1,529,006 円の支出超となった。

以 上